

# 2018年(平成30年)10月期 期末決算説明資料

株式会社ソフトウェア・サービス

代表取締役社長

宮崎 勝

取締役経営管理部長

伊藤 純一郎

# 留意事項

このプレゼンテーション資料は、PDF形式で当社ホームページ『IR情報/IR資料室：決算説明資料等』に掲載します。

URL <http://www.softs.co.jp/ir/financial/setumei.html>

このプレゼンテーション資料には、2019年1月9日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。国内外の経済環境・競合状況の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる場合があります。

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# アジェンダ

1. 会社紹介
2. 業界動向
3. 50期(2018年10月期)の状況
4. 今後の戦略
5. 51期(2019年10月期)の業績見通し
6. 質疑応答



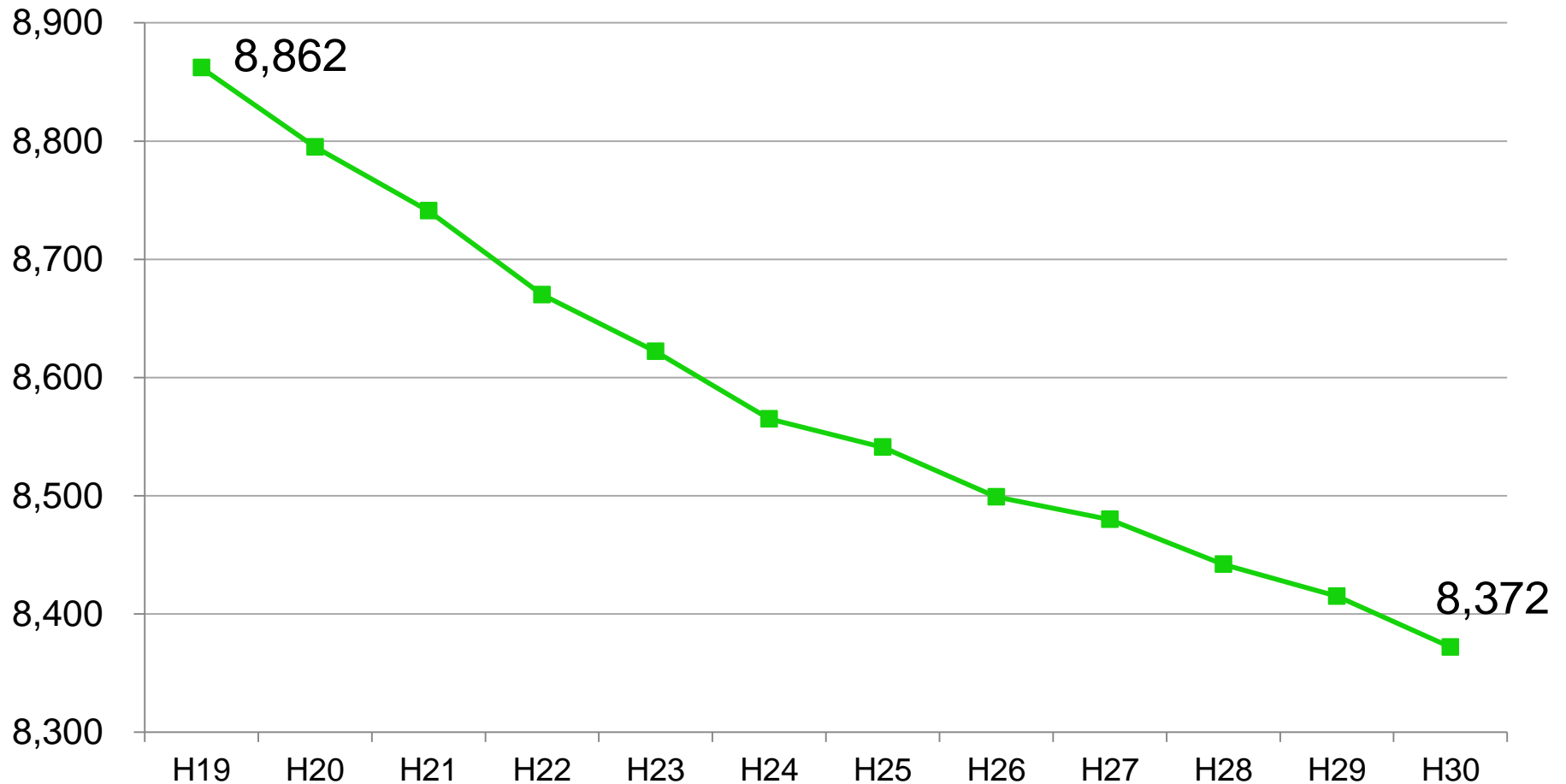
# 1. 会社紹介

# 会社概要

- 社名 株式会社ソフトウェア・サービス
  - 所在地 本店：大阪市淀川区西宮原2-6-1
  - 設立 1969年4月
  - 従業員 1,274名（2018年10月31日現在）
  - 資本金 847百万円（ジャスダック上場・2004年2月20日）
  - 事業内容 医療情報システム（専門特化）の開発・販売・導入・保守
  - ユーザー 633ユーザー <うち電子カルテユーザー：579>（2018.10現在）
  - 企業ポリシー
    - ①専門特化
    - ②創造価値
    - ③自主独立
- ⇒この3原則により「医療」「システム」の膨大なノウハウを蓄積し、「高品質・高機能」「適正価格」「顧客満足度向上」を実現

## 2. 業界動向

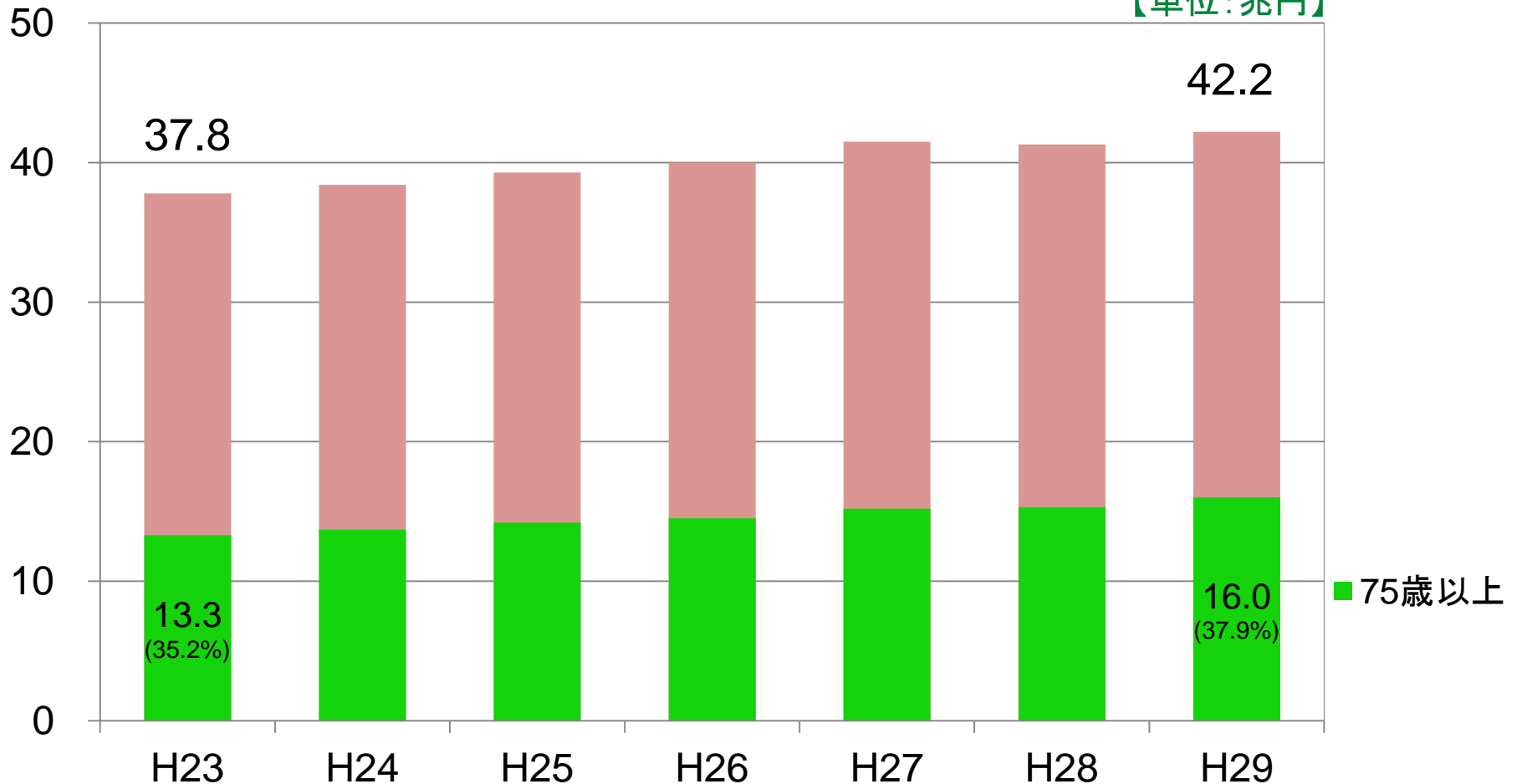
# 病院施設数の推移



(厚生労働省 医療施設動態調査:平成19年9月～平成30年9月)

# 概算医療費（速報値）の推移

【単位：兆円】



(厚生労働省 概算医療費データベース：平成23年～平成29年)



# 医療を取り巻く環境(1)

## ■ 医療費の削減が国の重要な政策課題

⇒病床数の削減や高額医療機器の共同利用、地域性診療報酬など打ち出すも難航。

⇒オンライン診療は現状広がらず、在宅医療拠点の整備の遅れも指摘されている。

## ■ 消費税対応のため診療報酬を臨時改定

⇒「全体で▲0.07%」。

うち本体は0.41%、薬価他で▲0.48%。

⇒介護報酬は、「+0.39%」。職員の処遇改善へ。

# 医療を取り巻く環境(2)

## ■ 地域医療介護総合確保法の制定

⇒各都道府県に、地域の医療需要の将来推計を  
基に、各医療機能の必要量を見極め、医療の分  
化と連携を進めるため、「地域医療構想(医療計  
画)」を策定させた。

⇒急性期病床の適正化が大きな目的である(地  
域医療構想は「二次医療圏」単位で考える)。

## 医療を取り巻く環境(3)

### ■ 地域医療介護総合確保基金

⇒消費税増収分を活用した財政支援制度。  
(2014年6月に成立)。

### ■ 地域医療構想の実現を支援するために活用

⇒建物の改修整備費。

⇒建物や医療機器の処分に係る損失。

⇒医療構想の実現に向けた人件費。

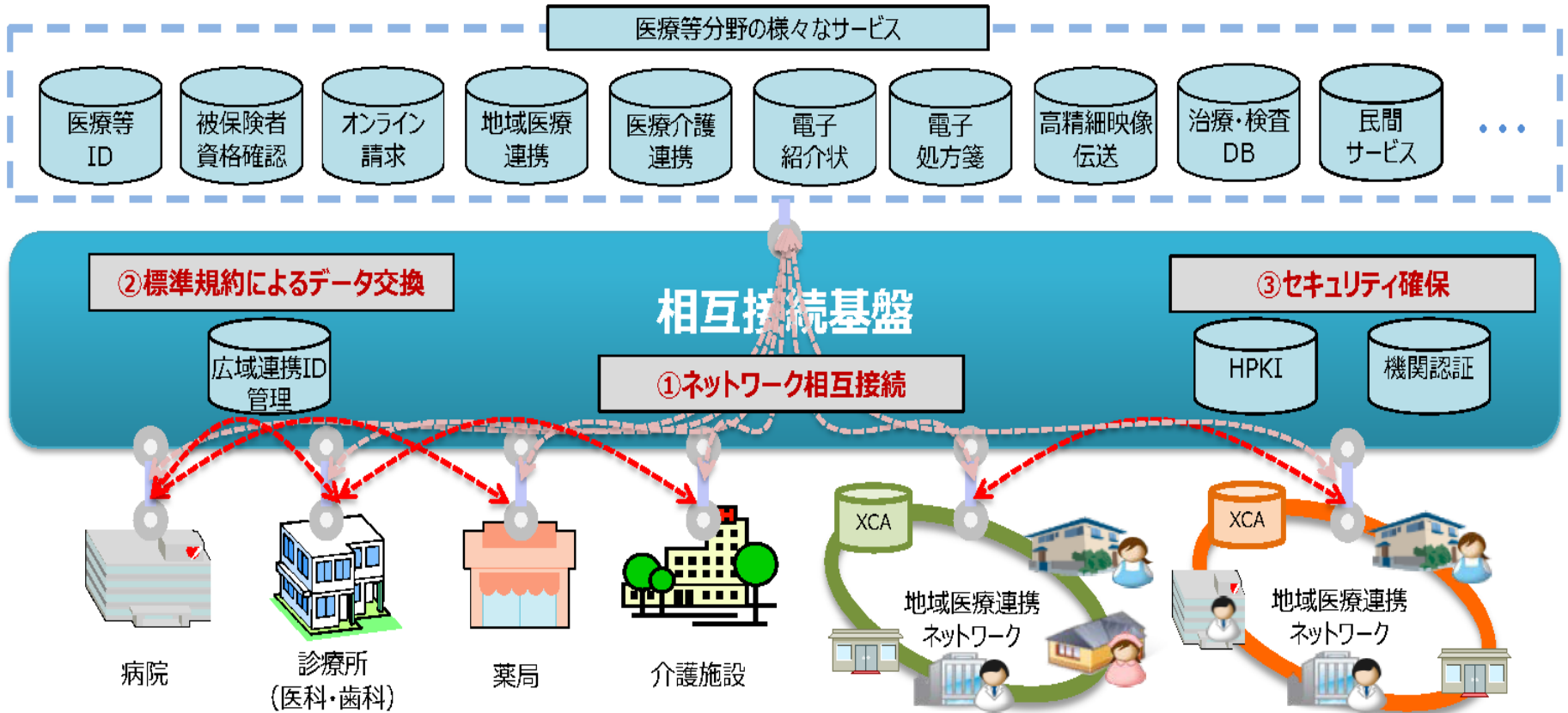
# 次世代医療基盤法

## ■ 医療情報の利活用促進へ

⇒平成29年5月施行の「改正個人情報保護法」では、**医療情報は「要配慮個人情報」**に定められ、第三者提供には本人の同意を得ることが義務付けられた。この改正は、個人の権利利益の保護につながると同時に医療分野でのデータ活用が難しくなる可能性があった。

そこで、AI診療支援システム開発・新薬開発・予防医学研究などのデータ活用ニーズに対応するため、**「次世代医療基盤法」**が施行されるに至った。

# 健康・医療・介護の統一情報基盤



(総務省「医療・介護・健康分野の情報化推進」)

# 業界状況

## ■ 電子カルテの普及状況

- ・電子カルテの導入数は、3,173病院。  
普及率は38%。当社シェアは19%。  
⇒経営効率やチーム医療のためにも電子化必須。  
⇒地域包括ケアシステム(二次医療圏)において、  
住み慣れた地域で、住まい・医療・介護・予防・生  
活支援を一体的に提供するためには、情報共有が  
最重要。業界内のプレイヤーは絞られてきている。

(数値は「月刊新医療 医療機器システム白書2019」より)

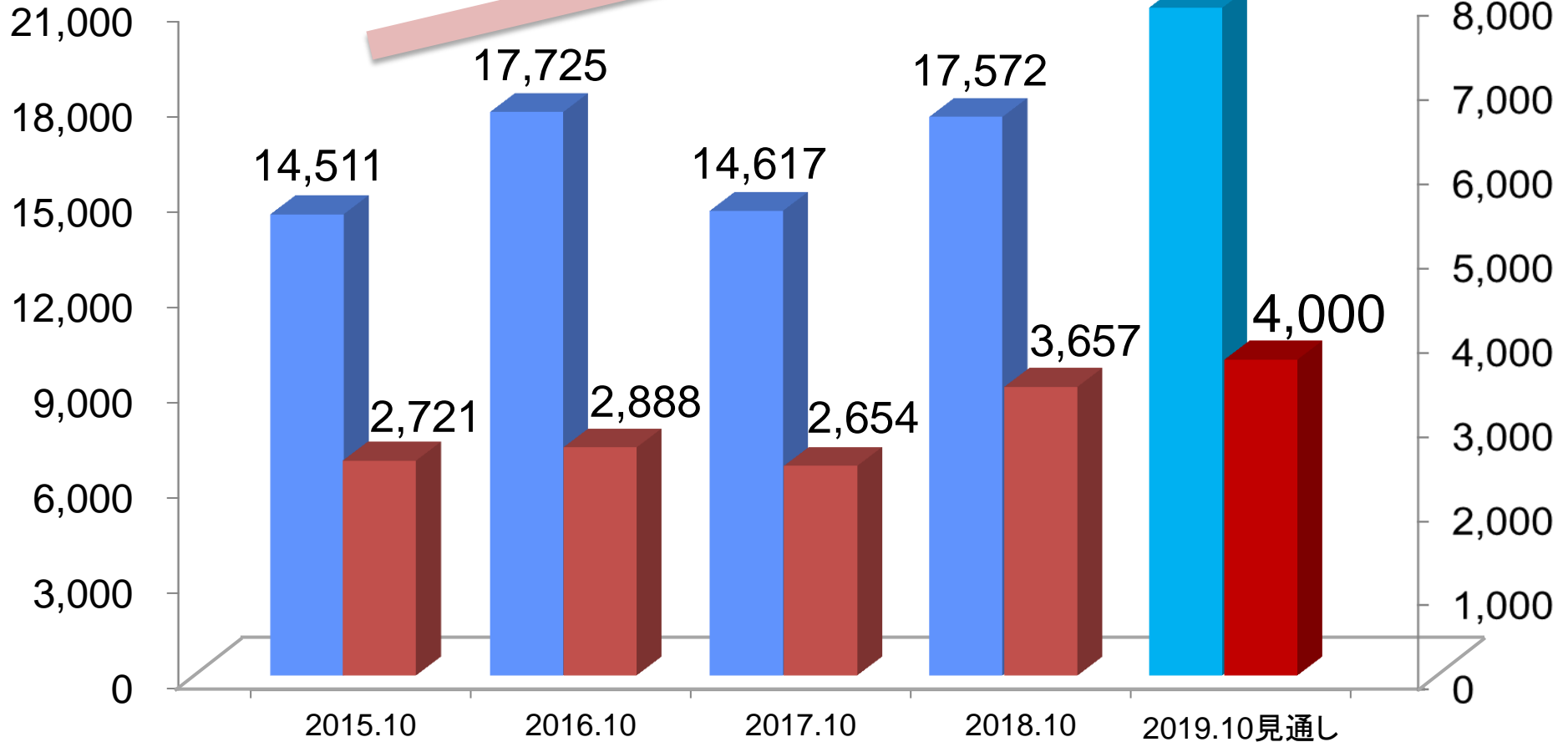
## 3. 50期(2018年10月期)の状況

# 事業年度の売上高・経常利益の推移

■ 売上高  
■ 経常利益

51期見通し

21,000 【単位:百万円】



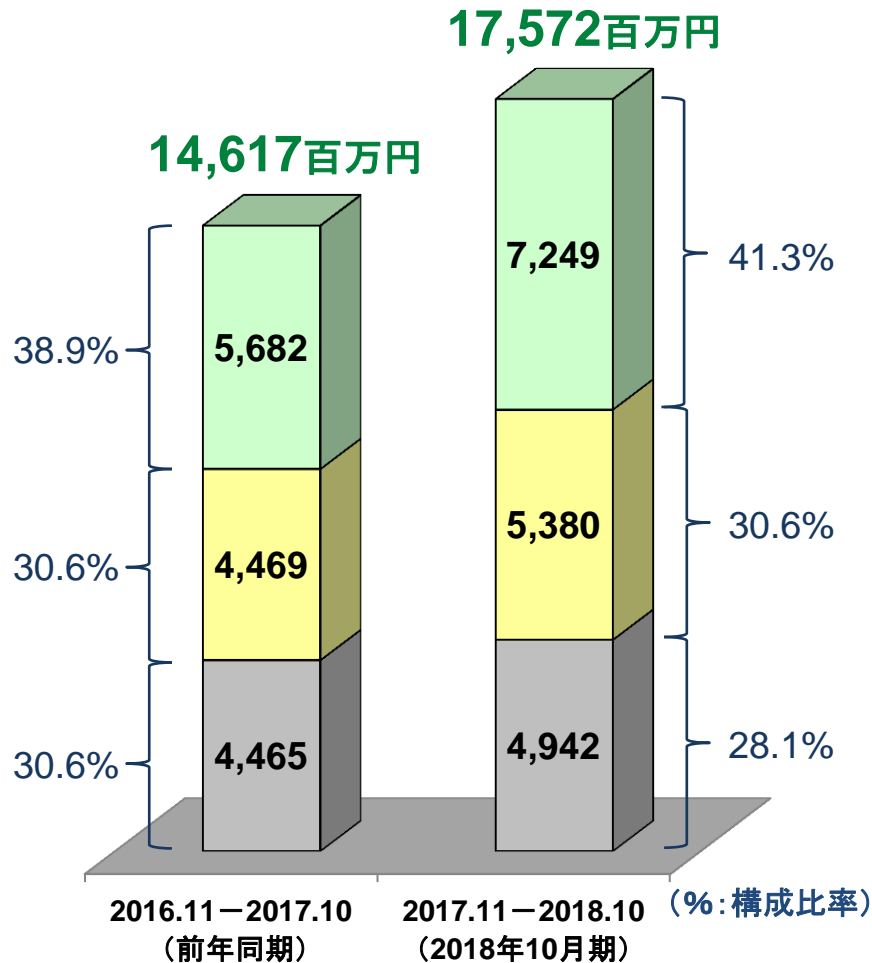


# 業績の概要(前年同期比較)

【単位：百万円】

	2016.11-2017.10 (前年同期)		2017.11-2018.10 (2018年10月期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	14,617	100.0%	<b>17,572</b>	100.0%	20.2%
売上総利益	3,847	26.3%	<b>5,177</b>	29.5%	34.6%
営業利益	2,605	17.8%	<b>3,603</b>	20.5%	38.3%
経常利益	2,654	18.2%	<b>3,657</b>	20.8%	37.8%
当期純利益	1,885	12.9%	<b>2,531</b>	14.4%	34.2%

# 売上高構成比(前年同期比較)



## 【総売上高】

**2,955**百万円増 (+ **20.2%**)

### ソフトウェア売上高

**1,567**百万円増 (+ **27.6%**)

### ハードウェア売上高

**911**百万円増 (+ **20.4%**)

### 保守売上高

**476**百万円増 (+ **10.7%**)

注:( )内は増減率

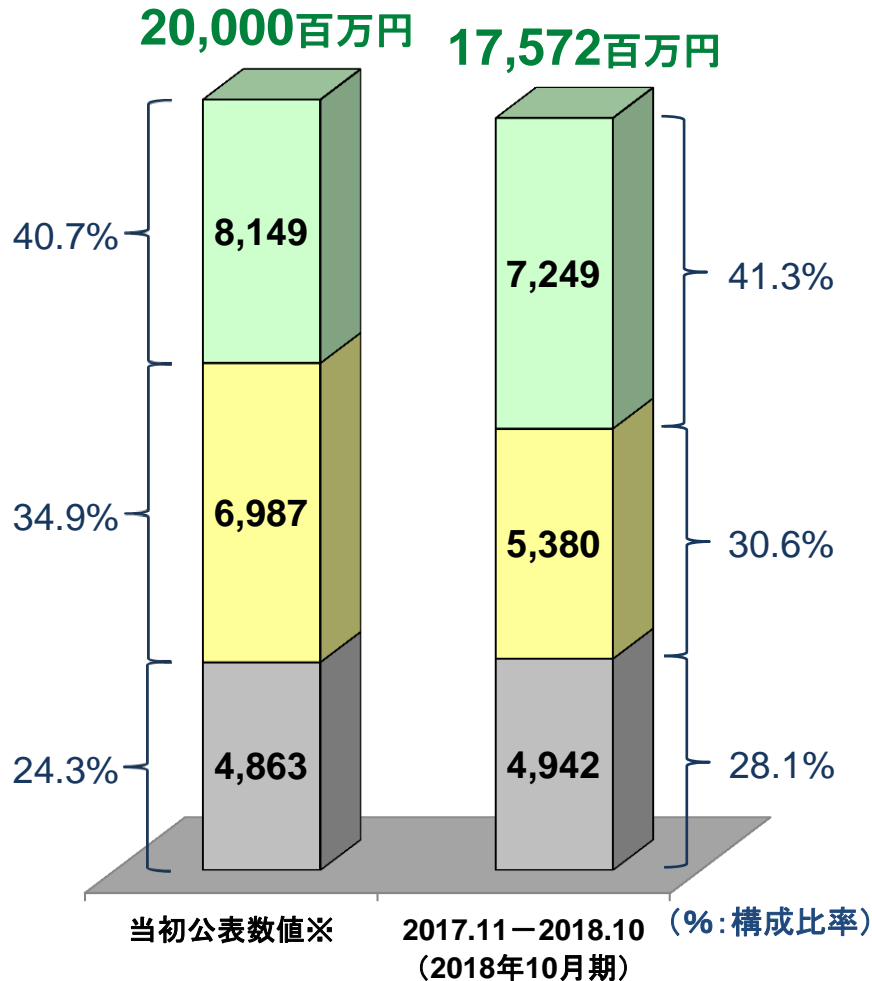
# 業績の概要(公表数値比較)

【単位：百万円】

	当初公表数値(※)		2017.11-2018.10 (2018年10月期)		増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	20,000	100.0%	<b>17,572</b>	100.0%	▲12.1%
売上総利益	5,454	27.3%	<b>5,177</b>	29.5%	▲5.1%
営業利益	3,960	19.8%	<b>3,603</b>	20.5%	▲9.0%
経常利益	4,000	20.0%	<b>3,657</b>	20.8%	▲8.6%
当期純利益	2,768	13.8%	<b>2,531</b>	14.4%	▲8.6%

※ 2017年12月8日公表

# 売上高構成比(公表数値比較)



※ 2017年12月8日公表

## 【総売上高】

**2,427百万円減 (▲ 12.1%)**

### ソフトウェア売上高

**899百万円減 (▲ 11.0%)**

### ハードウェア売上高

**1,606百万円減 (▲ 23.0%)**

### 保守売上高

**78百万円増 (+ 1.6%)**

注:( )内は増減率

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダリング	e-カルテ
1	11月	非公開	埼玉	450	●	●
2	11月	湘南慶育病院	神奈川	230	●	●
3	11月	熊本リハビリテーション病院※①	熊本	225	●	●
4	11月	三菱京都病院※①	京都	188	●	●
5	11月	非公開	東京	99	医事会計のみ	—
6	12月	野崎徳洲会病院(徳洲会グループ)※①	大阪	218	●	●
7	12月	京丹後市立久美浜病院(公的)※①	京都	170	●	—
8	12月	晴生会さっぽろ南病院	北海道	144	●	●
9	12月	非公開	宮城	125	医事会計のみ	—
10	12月	東取手病院	茨城	77	●	●
11	12月	河崎内科病院	大阪	60	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
12	12月	亀井病院	徳島	42	●	●
13	1月	非公開	東京	580	●	●
14	2月	諏訪中央病院(公的)※①	長野	360	●	●
15	2月	協立病院※①	兵庫	313	●	●
16	2月	府中市立湯が丘病院(公的)※①	広島	308	●	●
17	2月	大垣徳洲会病院(徳洲会グループ)※①	岐阜	283	●	●
18	2月	東京さくら病院	東京	258	●	●
19	2月	伊丹せいふう病院	兵庫	210	●	●
20	2月	北出病院	和歌山	182	●	●
21	2月	石巻健育会病院	宮城	168	●	●
22	2月	富山西総合病院	富山	154	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
23	2月	香芝旭ヶ丘病院	奈良	99	●	●
24	2月	愛知国際病院	愛知	72	●	●
25	2月	小禄病院	沖縄	70	●	●
26	3月	日立総合病院	茨城	651	●	●
27	3月	雲南市立病院(公的)※①	島根	281	●	●
28	3月	姫路中央病院	兵庫	235	●	●
29	3月	北中城若松病院	沖縄	223	●	●
30	3月	香椎丘リハビリテーション病院(カマチグループ)※②	福岡	120	●	●
31	3月	山北徳洲会病院(徳洲会グループ)※②	新潟	120	●	●
32	3月	非公開	神奈川	118	医事会計のみ	—
33	3月	かんな病院	沖縄	104	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

※② 医事会計のみ先行導入済

# 上期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
34	3月	日立総合病院附属多賀クリニック	茨城	—	●	●
35	3月	土浦診療健診センター	茨城	—	●	—
36	4月	呉共済病院(公的)	広島	440	●	●
37	4月	大和徳洲会病院(徳洲会グループ)※①	神奈川	199	●	●
38	4月	メリィホスピタル	広島	199	●	●
39	4月	非公開	東京	157	医事会計のみ	—
40	4月	和歌山生協病院	和歌山	149	●	●
41	4月	牧野リハビリテーション病院	神奈川	120	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働



# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
42	5月	東北労災病院(公的)	宮城	548	●	●
43	5月	順天堂東京江東高齢者医療センター(公的)	東京	404	導入済	●
44	5月	武田病院	京都	394	●	●
45	5月	東長野病院(公的)	長野	213	●	●
46	5月	宇野病院※①	愛知	180	●	●
47	5月	阪神リハビリテーション病院	兵庫	160	●	●
48	5月	名南病院※①	愛知	158	●	●
49	5月	名南ふれあい病院※①	愛知	120	●	●
50	5月	東大阪徳洲会病院(徳洲会グループ)※②	大阪	100	●	●
51	6月	医誠会病院※①	大阪	327	●	●
52	6月	佐藤第一病院※①	大分	130	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働  
 ※② 医事会計のみ先行導入済

# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
53	6月	手稲いなづみ病院	北海道	95	●	●
54	7月	武田総合病院	京都	500	●	●
55	7月	城南病院	熊本	198	●	●
56	7月	千代田病院	宮崎	196	●	●
57	7月	浜脇整形外科病院※①	広島	160	●	●
58	7月	聖母病院	東京	154	●	●
59	8月	第二協立病院※①	兵庫	425	●	●
60	8月	苫小牧東病院※①	北海道	260	●	●
61	8月	非公開	神奈川	245	医事会計のみ	—
62	8月	熊本整形外科病院※①	熊本	204	●	●
63	8月	八千代リハビリテーション病院(カマチグループ)	千葉	180	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
64	8月	新津医療センター病院※②	新潟	174	●	●
65	8月	与勝病院	沖縄	140	●	●
66	8月	高良台リハビリテーション病院	福岡	100	●	●
67	8月	古川星陵病院	宮城	99	●	●
68	8月	葉山ハートセンター(徳洲会グループ)※①	神奈川	89	●	●
69	9月	非公開	石川	500	医事会計のみ	—
70	9月	潤和会記念病院※①	宮崎	446	●	●
71	9月	川崎幸病院	神奈川	326	●	●
72	9月	川口さくら病院	埼玉	300	●	●
73	9月	友紘会総合病院	大阪	278	●	●
74	9月	新潟県済生会三条病院(公的)※①	新潟	199	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働  
 ※② 医事会計のみ先行導入済

# 下期稼働病院

No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
75	9月	さとう記念病院	岡山	179	●	●
76	10月	奈良春日病院	奈良	338	●	●
77	10月	鹿児島徳洲会病院(徳洲会グループ)※①	鹿児島	310	●	●
78	10月	坂出市立病院(公的)※①	香川	194	●	●
79	10月	宇治武田病院	京都	177	●	●
80	10月	千葉みなとリハビリテーション病院(カマチグループ)	千葉	156	●	●
81	10月	日下病院	三重	154	●	●
82	10月	阿知須共立病院	山口	135	●	●
83	10月	非公開	岡山	127	医事会計のみ	—
84	10月	田辺記念病院	京都	120	●	●
85	10月	西宮協立リハビリテーション病院※②	兵庫	120	●	●

※① 弊社旧システムからのリプレイス稼働

※② 医事会計のみ先行導入済

# 下期稼働病院

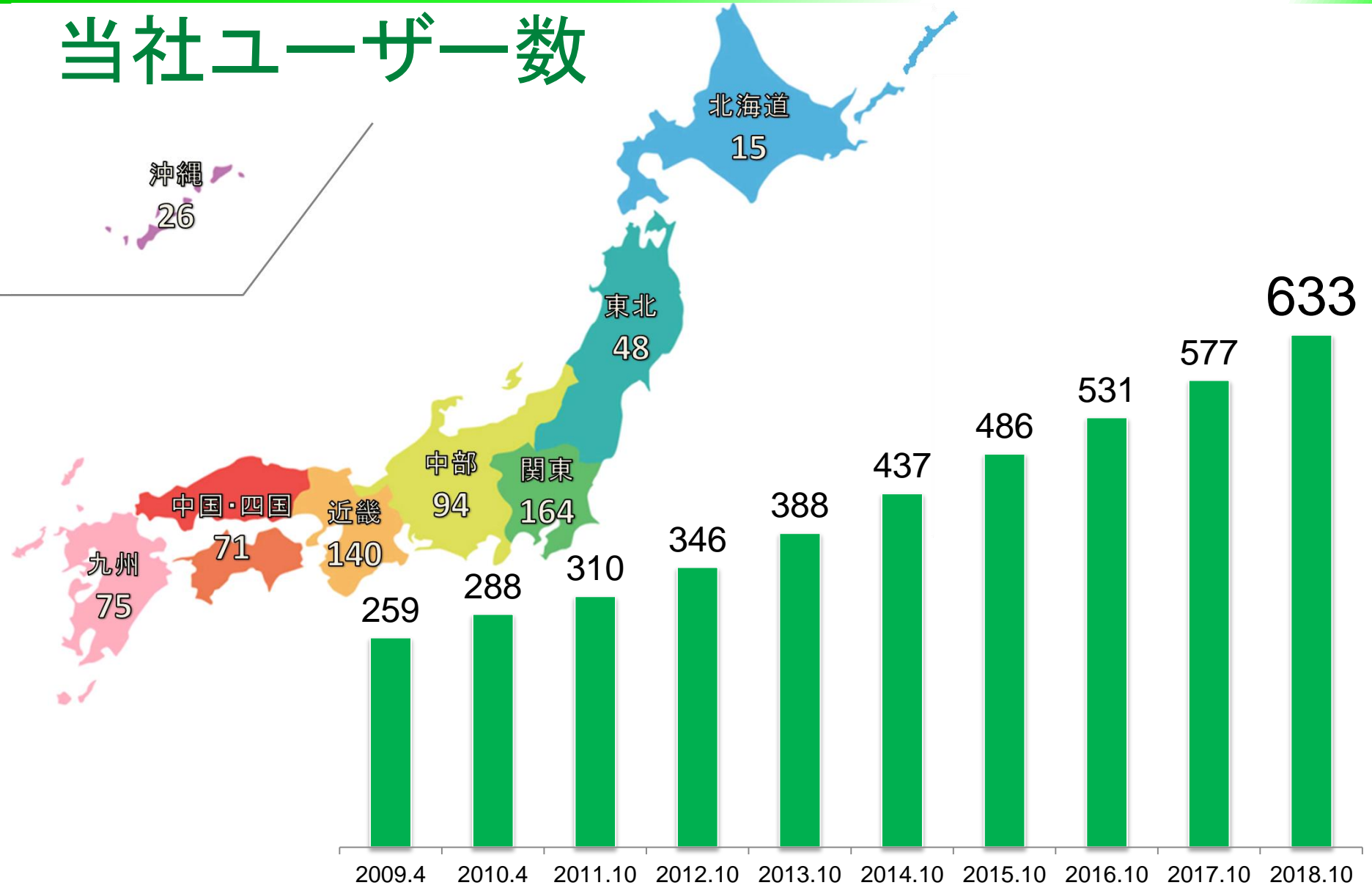
No	稼働月	病院名	所在地	病床数	オーダーリング	e-カルテ
86	10月	山内病院	神奈川	91	●	●

＜グループ病院の累計数＞ 2018年10月末現在

徳洲会グループ：65病院（全71病院）

カマチグループ：21病院（全23病院）

# 当社ユーザー数



## 4. 今後の戦略

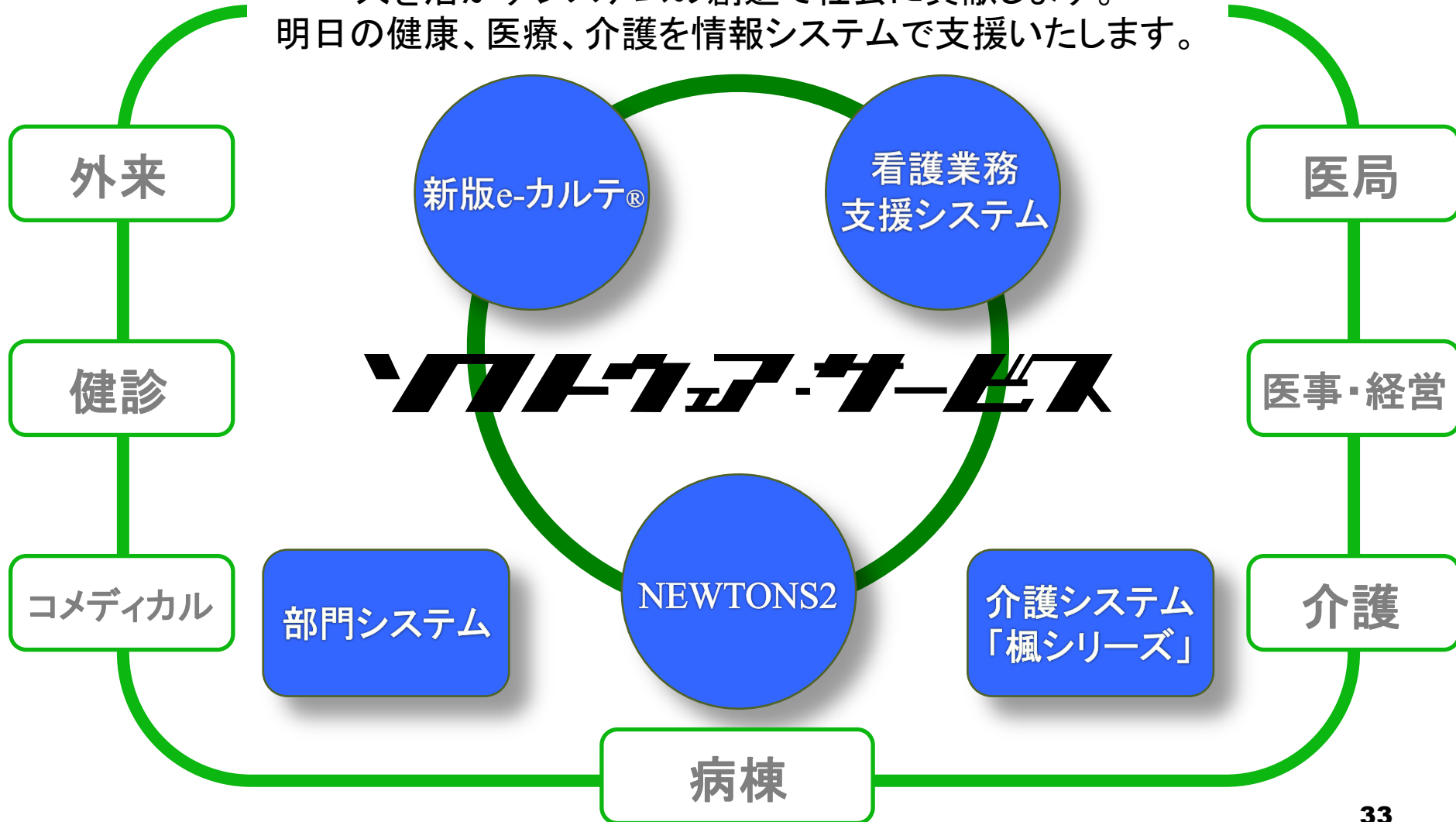
# 今後の戦略

- ▶ 地域有力グループ病院を積極的に深耕。
- ▶ 組織再編を実施。取締役を4名から6名に増加させ権限移譲。意思決定迅速化。かつ販売促進や品質管理体制を強化。
- ▶ 大阪本社・東京・沖縄に続き、九州にも拠点を設置。いっそうのシェアアップを目指す。



# 病院経営に必要なシステム全体を提供

人を活かすシステムの創造で社会に貢献します。  
明日の健康、医療、介護を情報システムで支援いたします。



# 当社システムラインナップ

<b>基幹システム</b>	オーダーリングシステム(Newtons2)	電子カルテシステム(新版e-カルテ®)
看護業務支援システム		
<b>部門システム</b>	DPC関連システム	再来受付機システム
病歴システム	クリティカル・パスシステム	抗がん剤プロトコルシステム
Newtons Mobileシステム	待受表示(診察・会計・投薬)システム	レセプトチェックデータベース
眼科検査データ管理システム	歯科システム	インシデント・アクシデントシステム
年間定期検査予定スケジュールシステム	周産期管理システム	Web診療予約システム
預り金管理システム(精神科)	がん登録システム	病病・病診連携Web構築
臨床検査システム	細菌検査システム	病理検査システム
輸血管理システム	リハビリシステム	給食システム
透析管理システム	ドック・健診システム	特定保健指導システム
感染管理システム	ME機器管理システム	検体管理システム
物品管理システム	麻酔記録システム	医用画像情報システム(SeavoPACS®)
<b>介護システム</b>	訪問系介護請求システム	特定施設入所介護請求システム
居宅介護支援システム	病院入所介護請求システム	居宅療養管理指導請求システム
通所系介護請求システム	老健介護請求システム	小規模多機能介護請求システム
訪問看護ステーションシステム		
<b>管理システム</b>	財務会計システム	人事給与システム
勤務管理システム	SSI SCOPE(データ検索)	
<b>地域連携システム</b>	地域包括ケアシステム(Care Mill®)	

# 今後の戦略 <組織編成>

- 営業担当取締役2名増加。技術担当取締役1名交代。  
⇒経営理念を受け継ぎ、いっそうの業績拡大を目指す。
- 「第三システム部」を設置。  
⇒PACSなど自社製部門システムの拡販を図る。
- 「社内システム室」を設置。  
⇒社内にある顧客情報や社員情報を一括管理。  
⇒働き方改革にも対応して、より生産性を上げていく。

# 今後の戦略 <事業拠点・九州>

- 2018年9月に、九州ブランチの新設。  
⇒九州全域をカバーするため、地理的な中心地に開設したもの(熊本市中央区)。
- 九州地域におけるユーザー病院は「75」。  
⇒まずは、営業拠点として活用しながら、将来的には人員拡充し、ユーザー保守拠点へ。

# 今後の戦略 <人事面>

## 経営戦略に適合した人材採用・育成計画

2017年 112名 2018年 128名 2019年 135名入社予定

## 生産性を高めるための取組み

全社員に「譲渡制限付株式(5年)」を支給。株価と業績を意識。

社員研修を大幅拡充。全員参加型で毎月実施する。

作業標準化、類似プロジェクトのノウハウ適用で低負担導入。

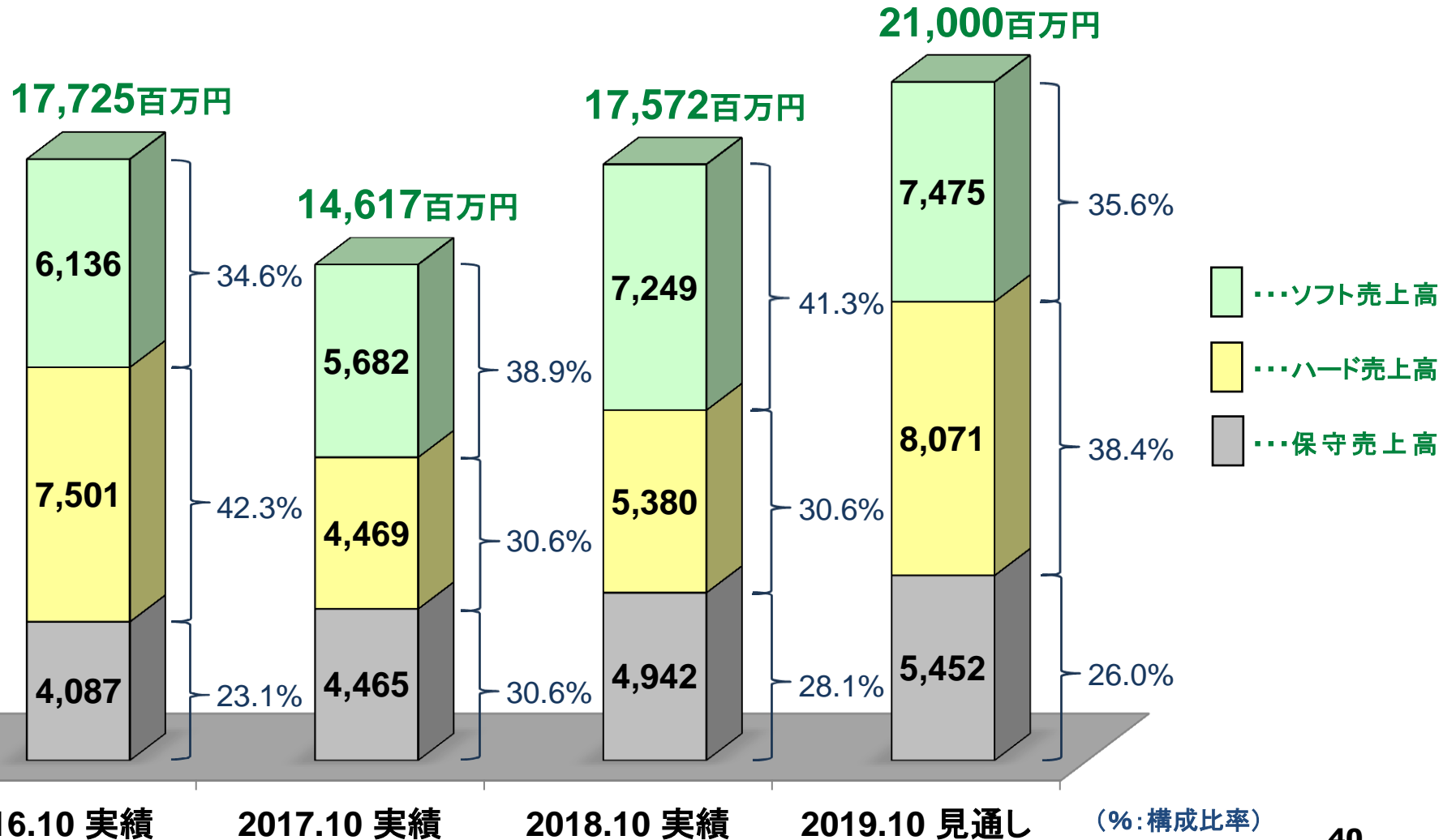
# 5. 51期(2019年10月期)業績見通し

# 業績の概要（実績及び見通し）

【単位：百万円】

	2016.10 実績		2017.10 実績		2018.10 実績		2019.10 見通し	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
売上高	17,725	100.0%	14,617	100.0%	17,572	100.0%	<b>21,000</b>	100.0%
売上総利益	4,010	22.6%	3,847	26.3%	5,177	29.5%	<b>5,818</b>	27.7%
営業利益	2,834	16.0%	2,605	17.8%	3,603	20.5%	<b>3,973</b>	18.9%
経常利益	2,888	16.3%	2,654	18.2%	3,657	20.8%	<b>4,000</b>	19.0%
当期純利益	1,913	10.8%	1,885	12.9%	2,531	14.4%	<b>2,776</b>	13.2%
1株当たり 当期純利益	359円28銭	—	354円11銭	—	474円61銭	—	<b>520円52銭</b>	—

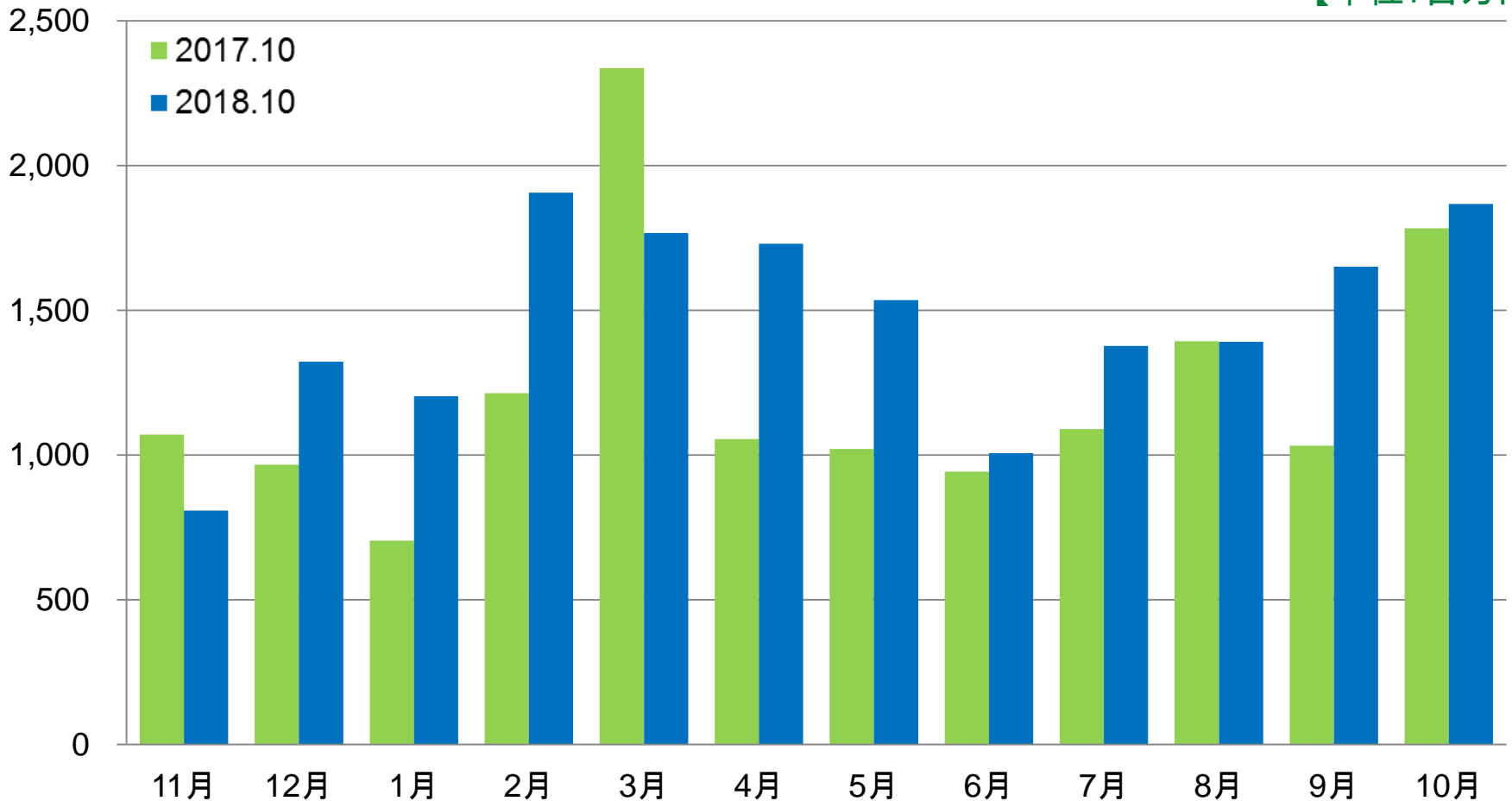
# 売上高構成比





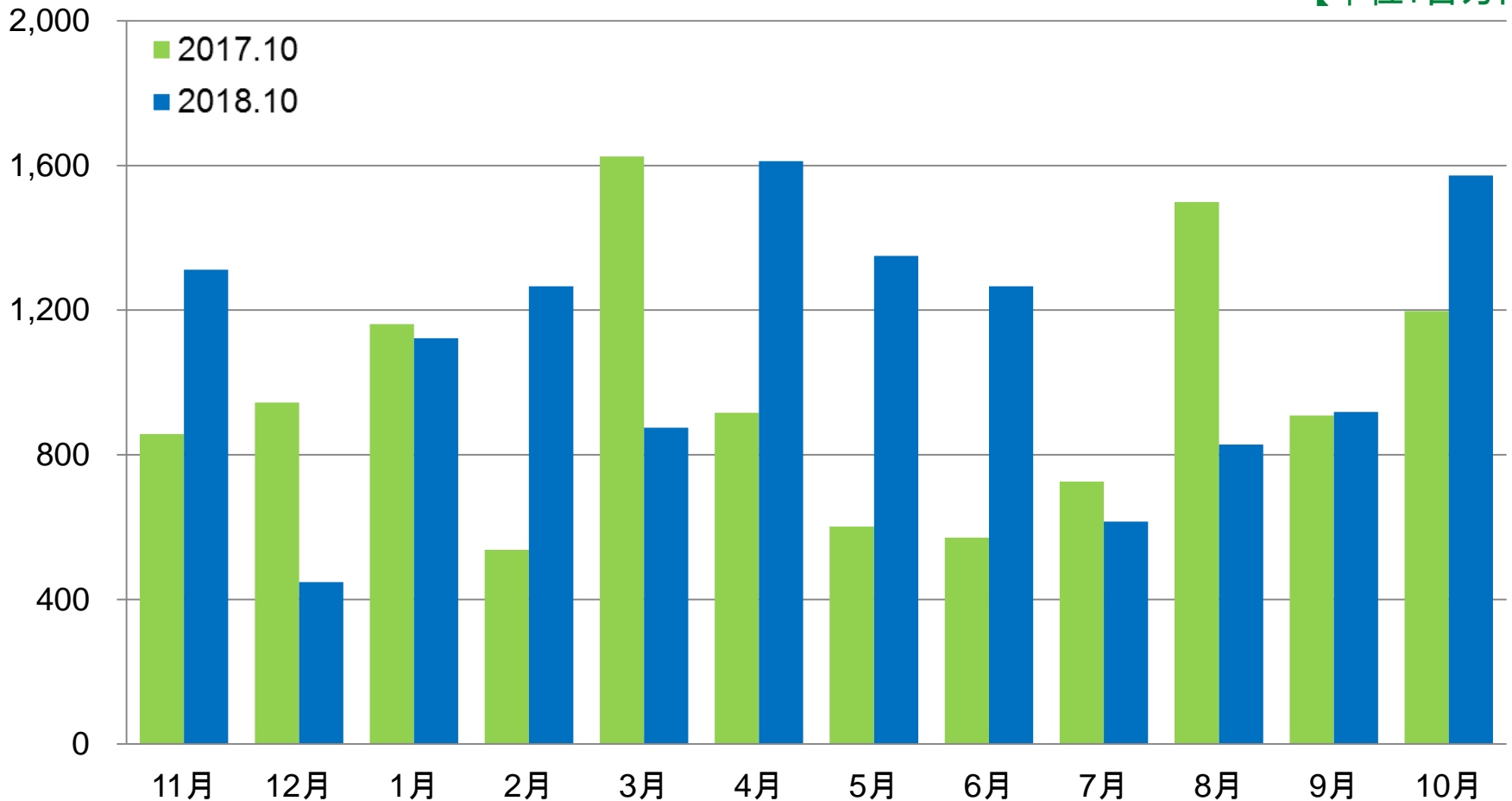
# 売上高の月次推移

【単位：百万円】



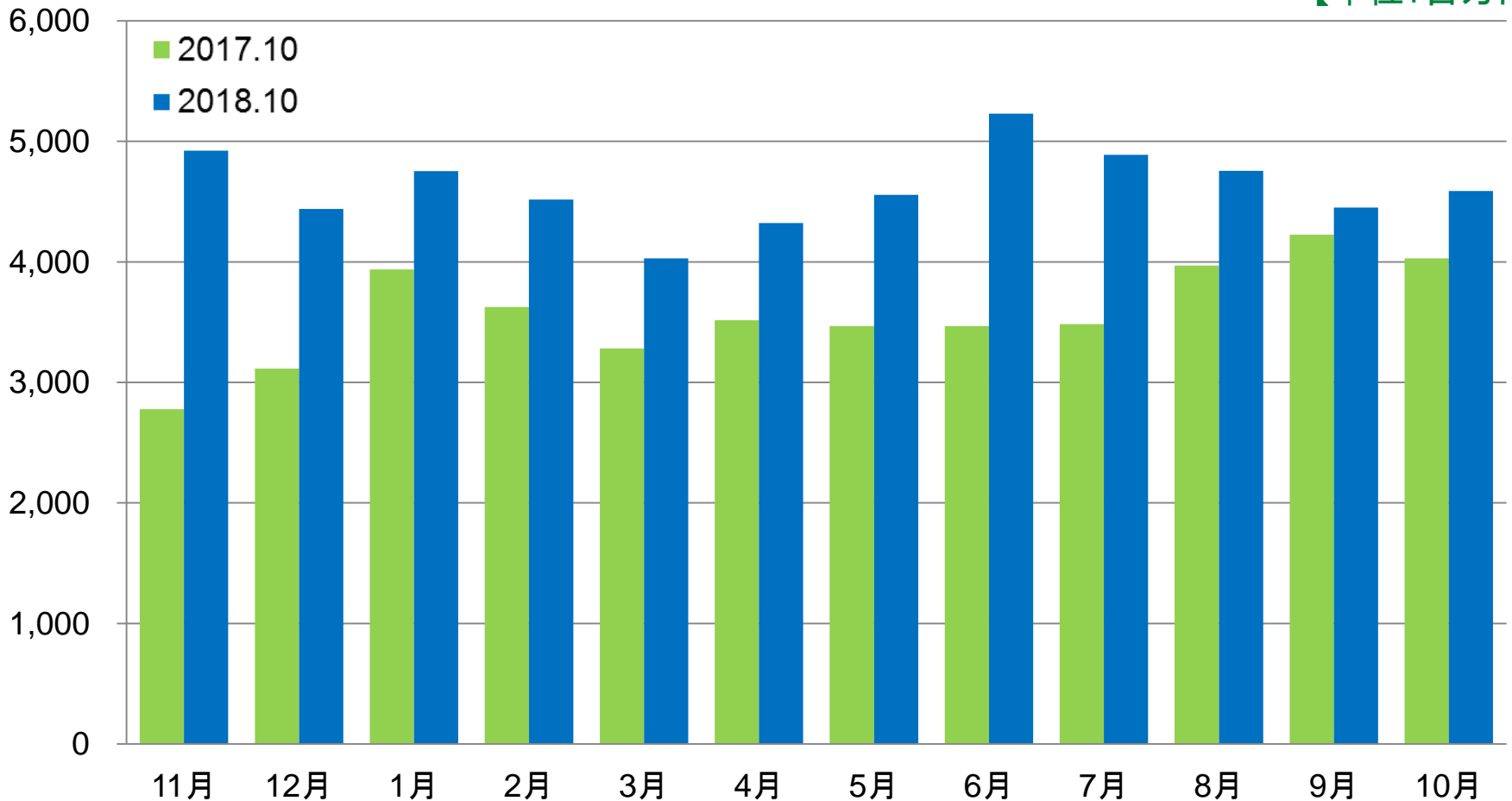
# 受注高の月次推移

【単位：百万円】



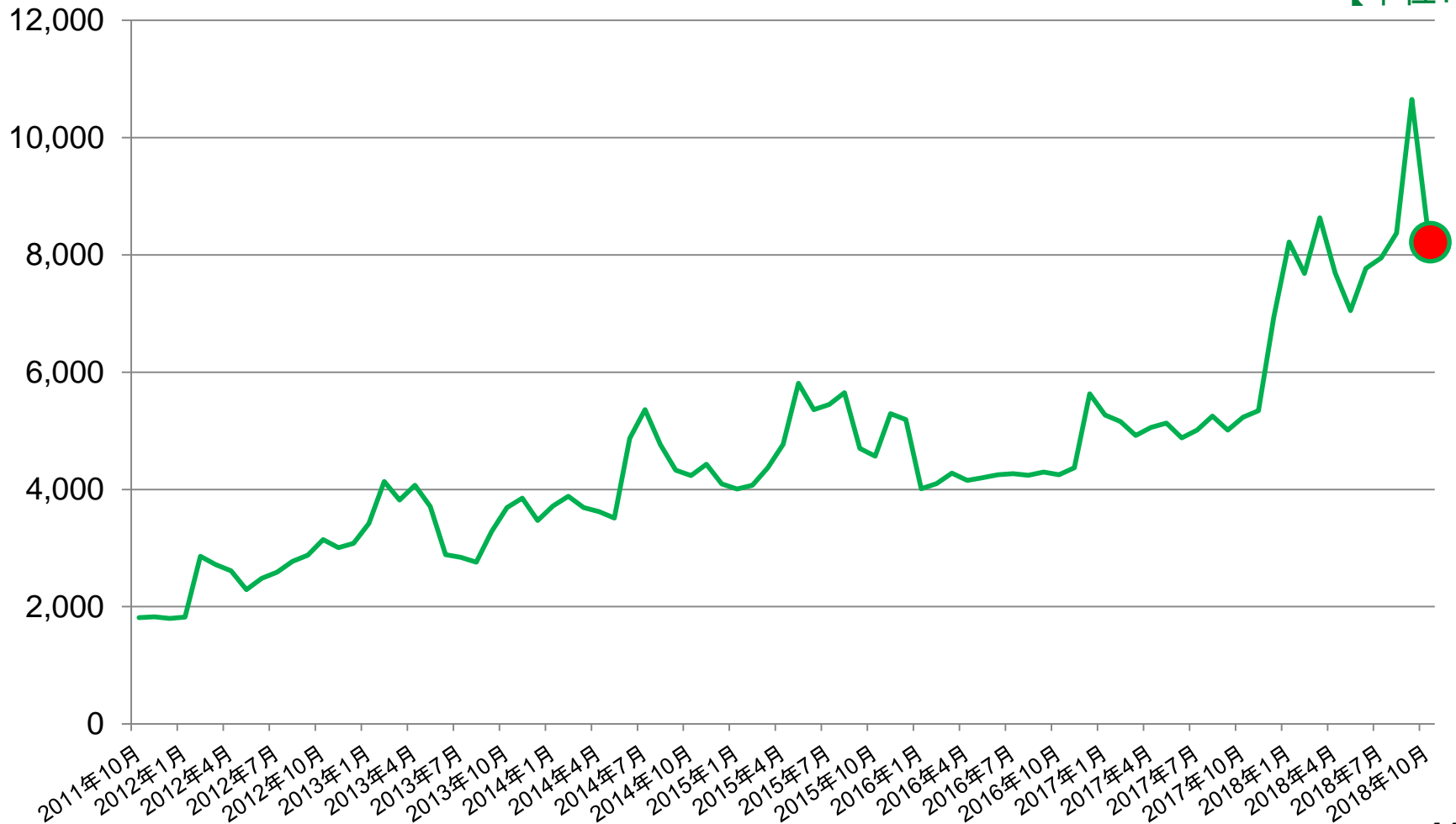
# 受注残高の月次推移

【単位：百万円】

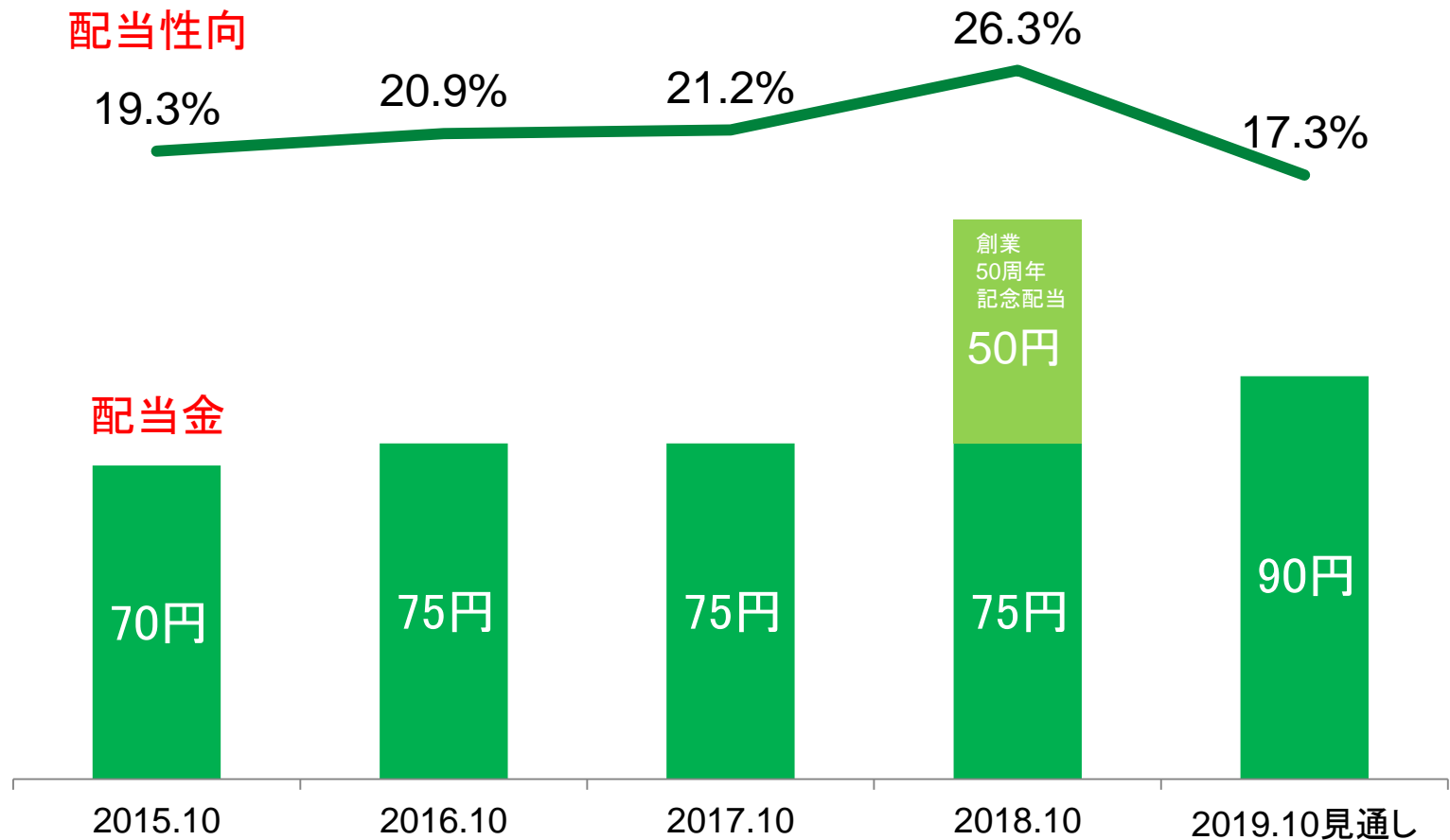


# 株価の推移 (2011年10月末～2018年10月末終値)

【単位:円】



# 配当の推移



注1: 2018年10月期の配当金及び配当性向については、第50回定時株主総会による配当議案が決議された場合の数値を記載しております。

注2: 2019年10月期の配当金及び配当性向については、2019年1月9日現在の2019年10月期配当予想に基づいて記載しております。

## 6. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

**株式会社ソフトウェア・サービス**

代表取締役社長 宮崎 勝

取締役経営管理部長 伊藤 純一郎